

2026年3月作成

2025年度

まちの魅力をカタチにしよう

(てくてくカード・まちトコマップ)

ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部

コミュニティデザイン研究室

構成

1.企画概要	p.2
1-1.てくてくカード	p.3
1-2.まちトコマップ	p.8
2.実施スケジュール	p.13
3.実施体制	p.16
4.活動報告	p.18
4-1.てくてくカード	p.19
4-2.まちトコマップ	p.34
5.成果物	p.45
5-1.てくてくカード	p.46
5-2.まちトコマップ	p.49
6.高校生の声、感想（抜粋）	p.52
7.成果と課題	p.60

1. 企画概要

1-1. てくてくカード

プロジェクト概要

- **名称**：まちの魅力をカタチにしよう！てくてくカード作成ワークショップ
- **期間**：2025年6月6日（金）～ 2026年2月21日（土）
- **場所**：窪川・大正地域
- **主催**：四万十町役場 人材育成推進センター・にぎわい創出課
- **企画運営**：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)
- **実施内容**：高知大学地域協働学部の学生と、窪川・四万十高校の学生が協働して、地域のお店を紹介するカードを作成・展示するプロジェクト。

実施イメージ

地域のお店を取材



高校生が主体となって
お店の店主に取材

カードを作成



大学生と高校生が
お店のカードを作成

カードを展示



展示ボードに作成した
カードを展示する

プロジェクトの目的

- 地域のお店を紹介するカードを、高知大学の大学生と窪川・四万十高校の高校生とが協働して作成することで、地域経済の活性化や地域プロモーション、若者の愛着形成を促す。

①地域経済の活性化

観光客や地元の方が地域のお店に足を運ぶきっかけを増やし、地域内での消費を促す。

②地域プロモーション

大学生と高校生が地域のお店取材して気づいた「お店の想い」や「魅力」を発信する。

③若者の愛着形成

高校生が地域で働く人取材し、地域の魅力を再発見して、地元への愛着と理解を深める。

カードの概要

- 地域店舗の取材を通して再発見した魅力を、はがきサイズのカードにまとめ、国内外を問わず観光客がお店の情報を知ることができる。

お店のジャンル
店名

店舗外装と商品の写真

店舗情報を
ピクトグラムで記載

文字が分からなくても、
パッと見て店舗情報が分かる

レストハウス 古都
Rest house Koto

Instagram

どこか懐かしい、まちのレストハウス。
A rest house in town that feels somehow nostalgic.

地元の人や高校生にも親しまれている「レストハウス古都」。人気のオムライスをはじめ、豊富なメニューがそろっています。「お客さまに楽しんでもらいたい」という思いを大切にしながら、心温まるひとときを提供しています。店内に一歩足を踏み入れれば、どこか懐かしい気持ちになれるはず。

Rest House Koto is popular among locals and high school students. It offers a wide variety of dishes, including its popular omelet rice. The restaurant strives to provide a heartwarming experience, who are treated to a sense of nostalgia as soon as they step inside.

店舗情報・information

AM 8:00-PM 3:00	Free Wi-Fi
日曜日・不定休 Every Sun/Closed on Irregular days	Toilet
高知県高岡郡四万十町大正107-5	No Smoking
0880-27-1501	Charge point

Instagram
カードに載せきれなかった
写真や情報を記載

店舗情報(日本語)

店舗情報(英語)
訪日観光客も
お店の情報が分かる

高知大生と一緒に

まちの魅力をカタチにしよう!

マップ作成・カード作成ワークショップ

高校生
対象!



「自分の町の魅力ってなんだろう」と思ったことはありませんか？
このワークショップでは、魅力的な場所や人を自分の足でめぐり、町の魅力を再発見することができます。今回は、大学生と一緒に窪川駅周辺の町歩きとお店への取材を同時に行います。気になるコースを選んで、ぜひ一緒に町の魅力を「カタチ」にしませんか？

参加費
無料

【開催場所】
四万十町農村環境改善センター (高岡郡四万十町神山村3-7)

【開催日時】

事前学習会①：6/6(金) 17:00-19:00 ・地域について学ぶ
事前学習会②：6/13(金) 17:00-19:00 ・ワークショップ当日の準備
インタビュートレーニング
ワーク当日：6/21(土) 14:00-17:00 ・町の魅力をカタチにしよう!

▽ 選べる2つの参加コース! ▽

MACHI no SUKI na TOKO!

まちトコマップ作成

窪川の町を歩いて、
自分の“好き”な場所を発見!

写真をとったり、気になったお店の人に話を聞いたりしながら、
高校生の視点でつくるオリジナルまちマップを
みんなで完成させます★

完成したマップは地域の人や観光客にも配布予定!

募集人数：先着6名

てくてく歩いて魅力を発見!

てくてくカード作成

窪川にあるお店を取材して、
お店の“魅力”を発見!

商品のこだわりや店主の想いを聞きながら、
お店の魅力をたくさん詰め込んだ
オリジナルのてくてくカードを
みんなで完成させます★

完成したカードは町内にて展示予定!

募集人数：先着9名

企画：高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室
主催：四万十町人材育成推進センター
(担当：吉村・中野)
四万十町にすむい創出課
(担当：有田・宮本)

お問い合わせは
こちら



参加申し込みは
こちら



申し込み締め切り
6/5(木)

高知大生と一緒に

まちの魅力をカタチにしよう!

- カード作成イベント -

高校生
対象!



「自分の町の魅力ってなんだろう」と思ったことはありませんか？
このイベントでは、魅力的な場所や人を自分の足でめぐり、町の魅力を再発見します。今回は、大学生と一緒に大正地域のお店へ取材を行い、お店の魅力をカードにまとめます！作ったカードは金太郎夜市や四万十町役場にも展示予定です。一緒に地域の魅力を「カタチ」にしませんか？

参加費
無料

【開催場所】
地域交流センターたのの(4日,7日)
大正地域振興局2階大会議室(13日)

【開催日時】

取材予定日①：7/4(金) 14:00-16:00
取材予定日②：7/7(月) 14:30-16:30
取材予定日③：7/13(日) 09:30-13:00

【持ち物】
飲み物・勉強道具・昼食代(3日目のみ)

てくてく歩いて魅力を発見!

てくてくカード作成

大正地域にあるお店を取材して、お店の“魅力”を発見!

商品のこだわりや店主の想いを聞きながら、
お店の魅力をたくさん詰め込んだ
オリジナルのてくてくカードをみんなで完成させます★

完成したカードは金太郎夜市や役場で展示予定!

企画：高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室
主催：四万十町人材育成推進センター
(担当：吉村・中野)
四万十町にすむい創出課
(担当：有田・宮本)

お問い合わせは
こちら



参加申し込みは
こちら



お問い合わせの上
ご参加ください!

1日だけ、少しだけの参加も大歓迎!

テスト勉強もお手伝いします!

1-2. まちトコマップ

プロジェクト概要

- **名称**：まちの魅力をカタチにしよう！まちトコマップワークショップ
- **期間**：2025年6月6日（金）～2026年2月21日（土）
- **場所**：窪川地域
- **主催**：四万十町役場 人材育成推進センター・にぎわい創出課
- **企画運営**：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)
- **実施内容**：高知大学地域協働学部の学生と、窪川・四万十高校の学生が協働して、窪川地域中心部のマップを作成するプロジェクト。

実施イメージ

高校生と大学生で ワークショップを開催



3回のワークショップで
マップのデザイン等を決定

マップ作成



大学生と高校生が
まち歩きをしながら作成

マップの展示・配布



観光客が集まる道の駅等
で展示・配布

プロジェクトの目的

- 地域のお店を紹介するマップを、高知大学の大学生と窪川・四万十高校の高校生が協働して作成することで、地域経済の活性化や地域プロモーション、若者の愛着形成を促す。

①地域経済の活性化

観光客や地元の方が地域のお店に足を運ぶきっかけを増やし、地域内での消費を促す。

②地域プロモーション

展示・配布の過程の中で大学生と高校生が地域のお店を紹介する機会をつくる。

③若者の愛着形成

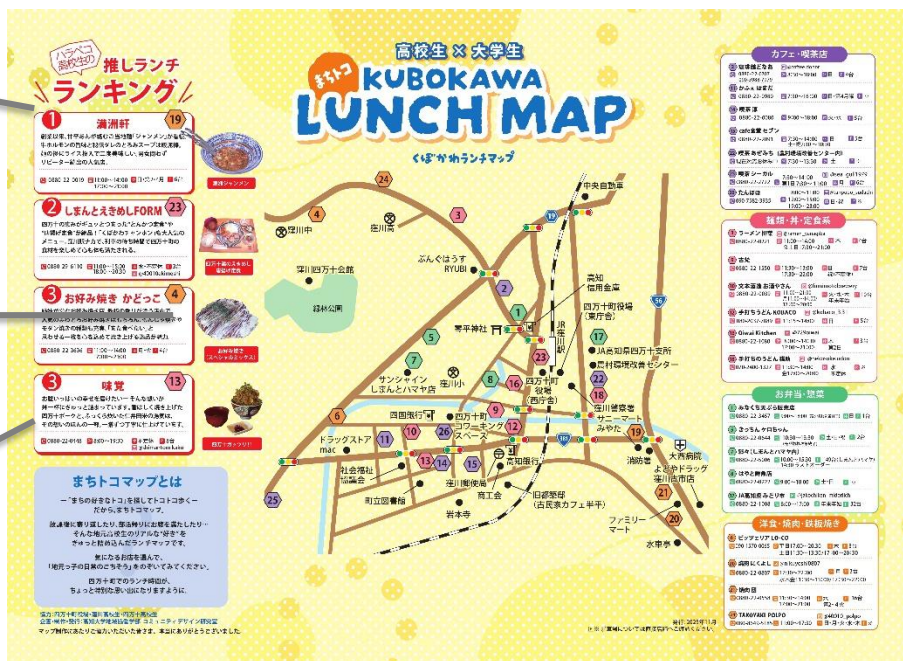
高校生が地域の飲食店を知り、コミュニケーションをとる中で地域に愛着をもつ。

マップの概要

- ワークショップにおいて、窪川地域の街なかマップとしてランチに特化したマップを作成するにあたり、窪川高校・四万十高校の全生徒を対象に「お気に入りのランチ」に関するアンケートを実施し、その結果をもとに、上位4店舗をはじめとするランチ提供店26店舗を掲載した「窪川のランチマップ」を作成した。マップはA3サイズで作成し、表面を日本語版、裏面を英語版としている。

人気ランキング
上位4店舗

人気メニューの写真



店舗情報

営業時間・定休日・駐車場の台数・Instagramのアカウント名を掲載。裏面には英語表記のバーションをマップを掲載。

店主の思いの反映

掲載の4店舗に実際に取材に伺い作成。

高校生
対象!

高知大生と一緒に まちの魅力を カタチにしよう!

マップ作成・カード作成ワークショップ

「自分の町の魅力ってなんだろう」と思ったことはありませんか？
このワークショップでは、魅力的な場所や人を自分の足でめぐり、町の魅力を再発見することができます。今回は、大学生と一緒に窪川駅周辺の町歩きとお店への取材を同時に開催します。気になるコースを選んで、ぜひ一緒に町の魅力を「カタチ」にしませんか？

参加費
無料

【開催場所】
四万十町農村環境改善センター（高岡郡四万十町榊山町3-7）

【開催日時】
事前学習会①：6/6(金) 17:00-19:00 ・地域について学ぶ
事前学習会②：6/13(金) 17:00-19:00 ・ワークショップ当日の準備
インタビュートレーニング
ワーク当日：6/21(土) 14:00-17:00 ・町の魅力をカタチにしよう！

▽ 選べる2つの参加コース！ ▽

MACHI no SUKI na TOKO!

まちトコマップ 作成

窪川の町を歩いて、
自分の“好き”な場所を発見！

写真を撮ったり、気になったお店の人に
話を聞いたりしながら、
高校生の視点でつくるオリジナルまちマップを
みんなで完成させます✦

完成したマップは地域の人や観光客にも配布予定！

募集人数：先着6名

てくてく歩いて魅力を発見！

てくてくカード 作成

窪川にあるお店を取材して、
お店の“魅力”を発見！

商品のこだわりや店主の想いを聞きながら、
お店の魅力をたくさん詰め込んだ
オリジナルのてくてくカードを
みんなで完成させます✦

完成したカードは町内にて展示予定！

募集人数：先着9名

企画：高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室
主催：四万十町人材育成推進センター
(担当：吉村・中井)
四万十町にきわい創出課
(担当：有田・宮本)

お問い合わせは
こちら

参加申し込みは
こちら

申し込み締め切り
6/5(木)

2. 実施スケジュール

スケジュール：まちの魅力を形にしよう（てくてくカード）

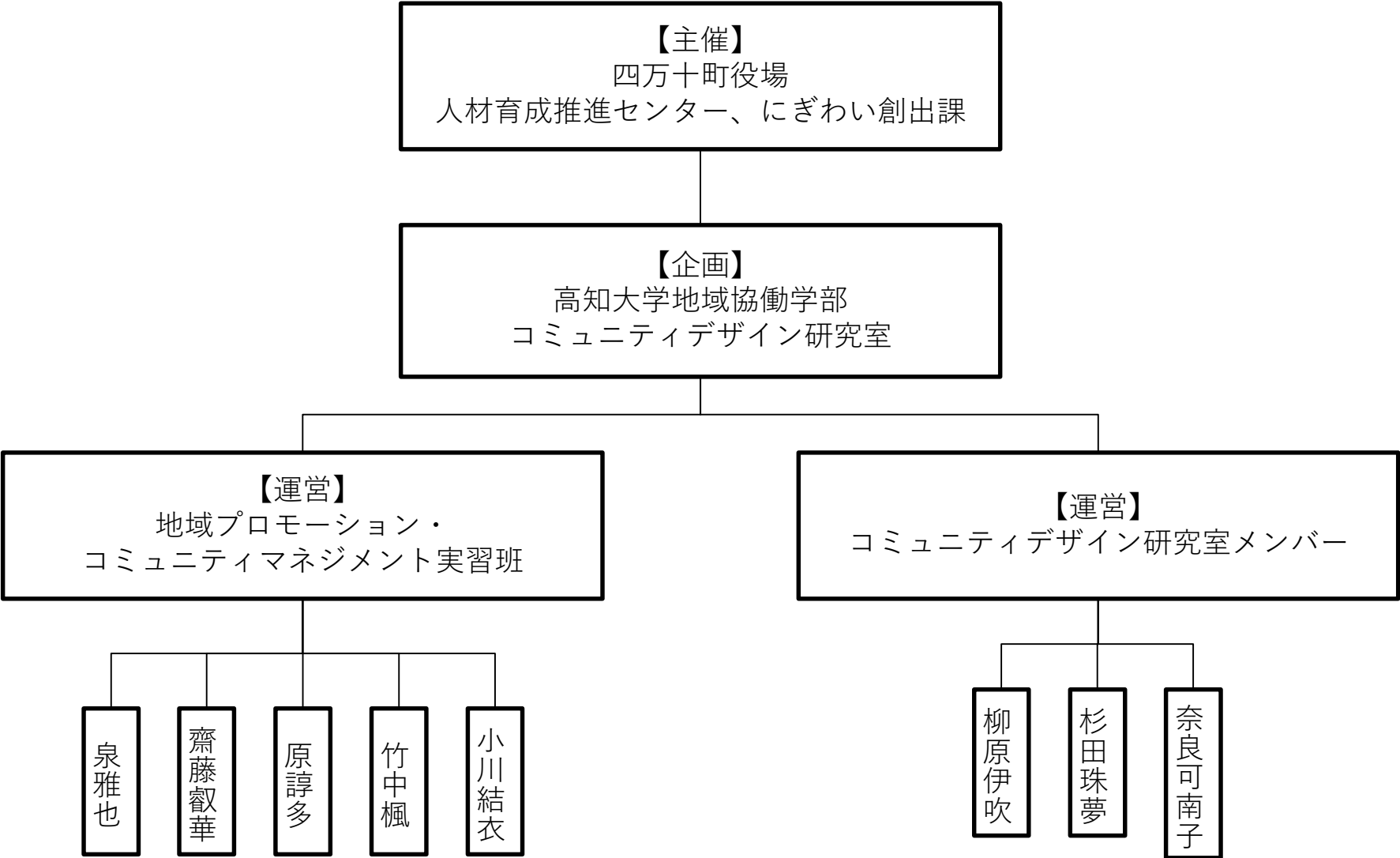


スケジュール：まちの魅力を形にしよう（まちトコマップ）



3. 実施体制

実施体制



4. 活動報告

4-1. てくてくカード

てくてくカード作成ワークショップ in窪川 1回目：6月6日

てくてくカード作成ワークショップ in窪川では、四万十町窪川地域の街中を舞台に地域の高校生と窪川駅周辺の店舗をまち歩きしながら取材し、最終的に店舗の紹介を行う「てくてくカード（以下、カード）」を作成する、全3回のワークショップに取り組む。1名の高校生と4名の大学生で実施された。

第1回目は、高校生目的理解と質問ノウハウの理解、最終成果物のイメージをつかむことを目的とし、①自己紹介 ②名刺作成 ③企画の趣旨・概要説明 ④再現カード作成ワークの順番でワークショップを実施した。

自己紹介では、高校生と大学生がお互いの名前や所属、好きな食べ物などを共有しながら、アイスブレイクを行った。

名刺作成ワークでは、店舗取材時にビジネスマナーなどを学ぶため、自分の名刺を作成した。

企画趣旨・概要の説明では、本プロジェクトのキーワードである「地域内経済循環」についての理解を促す説明をした。消費者からお金が地域内に留まるプロセスと出ていくプロセスを図を用いて伝えた。

再現カード作成ワークでは、3回目の取材に先立ち、情報収集能力向上やカード作成のイメージを固めることを目的に、数人のグループでカードを模造紙に再現した。ネットやパンフレットからお店の情報を集め、手書きでお店の情報や商品のイラストを描いた。



ワークショップの趣旨説明の様子



カードを模造紙に再現するワークの様子

てくてくカード作成ワークショップ in窪川 2回目：6月13日

第2回目は、ワークショップの舞台となる窪川地域の町並みやお店を自分で目で見て、足を運んだうえで、最終日の取材先を決めることを目的に、①前回の振り返り ②今回の内容の説明 ③まち歩きの詳細の注意点の説明 ④まち歩き ⑤まち歩きの内容をまとめて取材先候補を決めるワークを実施した。

前回の振り返りでは、取材時のビジネスマナーについてや本プロジェクトのキーワードである「地域内経済循環」についての学びや振り返りを高校生と大学生で共有を行った。

今回の内容の説明では、スケジュールやインタビュー項目などについて事前の確認を行った。注意点の説明では、「車や自転車に気を付けて安全にまちを歩く」「地域の家や敷地には勝手に入らない」「地域の人にあいさつをする」など、フィールドワークを行う上で留意すべき点を伝えた。

まち歩きでは、大学生・高校生・役場職員の3人グループで実施しました。運営側で設定していた5つの店舗を回るコースを基盤に、コースの道中にある、町の主要な観光地も見学に行くなど、積極的に散策する様子が見られた。

まち歩きの後は、3回目の取材先を決めるワークを行った。あらかじめ運営側が作成したフォーマットに則り、写真を切り貼りしながらお店の情報をまとめた。お店をまとめた模造紙を見ながら、3回目の取材先を決めた。



まち歩きの様子



お店の情報をまとめた模造紙

てくてくカード作成ワークショップ in窪川 3回目：6月21日

第3回目は、カードに記載するお店の紹介文章を作成することを目的に、高校生と大学生がお店を取材した。ワークの最後には、作成したカードについて高校生が発表を行った。

ワークショップを開始する前に、高校生と大学生がたこ焼きパーティーを行った。3回目に初めて参加する高校生もいたため、既存メンバーとの交流や大学生との親睦を深める機会となった。

取材では、3グループに分かれ、それぞれ2～3店舗の取材を実施した。高校生が店主へインタビューを行いながらメモを取る形で実施された。初めて取材を体験する高校生もいたため、最初は緊張した様子で取材を行った。運営が作成していた取材マニュアルに沿って、高校生がお店の方へ質問を投げかけた。

取材後の文章作成ワークでは、高校生が聞き出したお店の情報をもとに、カードに記載する内容やその表現方法を、大学生と一緒に考えた。メモをもとに、大学生がサポートしながら、高校生主体でカード文章を作成した。

最後には、高校生が自身の言葉で成果を発表した。発表はマップ作成班と合同で行い、成果物だけでなく、互いの学びや気づきを共有する場となった。



高校生がお店へ取材に行く様子



取材後のカード文章作成ワークの様子

てくてくカード作成ワークショップ in大正 1回目：7月4日

てくてくカード作成ワークショップ in大正では、四万十町大正地域の街中を舞台に地域の高校生と大正地域の店舗をまち歩きしながら取材し、最終的に店舗紹介カードを作成する、全3回のワークショップに取り組んだ。

本ワークショップは、前月に取り組んだ窪川でのワークショップの第二弾として実施した。窪川でのワークショップではマップ作成コースだった高校生も参加し、6名の高校生と大学生で実施した。

第1回目は、企画の説明を改めて行った後、取材班とイラストレーター班に分かれてワークショップを行った。ワーク後はテスト勉強の時間を設けた。

企画の説明では、カード作成ワークショップに初めて参加する高校生もいたため、スライド資料や図を用いながら説明を行った。また、大学生と高校生がペアとなり、アイスブレイクとして交流する時間も設けた。

取材班は、地域の老舗レストランを営まれている方を取材を行った。準備していた質問項目以外にも、主体的に質問を考えて店主に問いかける姿も見られた。

イラストレーター班ではAdobe illustratorを用いて、様々な図形やオブジェクトを作成する体験を行った。操作のレクチャー後も、様々な機能を試したりオブジェクトの中に文字を入れるなど、積極的に操作する姿が見られた。



高校生と大学生がアイスブレイクをする様子



高校生が店主を取材する様子

てくてくカード作成ワークショップ in大正 2回目：7月7日

第2回目は、2グループに分かれて取材を行い、取材後はテスト勉強等の時間を設けた。

最初に7月7日にちなみ、七夕で願うなら何を願いたいかを高校生と大学生がペアになり対話を行った。取材を行う前は、緊張する機会が多いため、アイスブレイクを兼ねて通常より少し長めの時間を設けた。

アイスブレイクの後、これまで取材を何度か経験している高校生は、さっそく取材に出向いた。外は猛暑であったため、熱中症対策の呼びかけや水分補給、休憩をこまめにとりながら、まち歩きと店舗取材を行った。

カード作成ワークショップへの参加経験が少ない高校に対しては、最初に取材マニュアルの説明を丁寧に行った。フィールドワークにおいて留意すべき点や、取材時に質問する内容、メモの取り方、質問の仕方などを共有した。その後大学生が店主となり、高校生と大学生で取材のロールプレイを行い、本番への準備を行った。

取材中は、どちらのグループも決められた質問項目だけではなく、自分たちの経験の共有や疑問に思ったことを問いかけるなど、積極的に対話する様子が見られた。

取材後のテスト勉強では、大学生と一緒に勉強を行った。七夕であったため、休憩として短冊にお願い事を書きに行く様子も見られた。



取材マニュアルの説明の様子



高校生が店主を取材する様子

てくてくカード作成ワークショップ in大正 3回目：7月13日

第3回目は、運営メンバーの大学院生と役場職員が中心となり実施した。

当日は「ナイス(7月13日)の日」であったため「ナイスだと思う人・もの」をテーマに高校生と運営の大学院生・役場職員を含め、全員で順番に共有を行った。

取材のスケジュール、班分け、ワークの目的を説明し、各班に分かれて取材先へ向けて出発した。

2つに分かれた取材班のうち、片方の班は予定していた取材先の一つが込み合っていたため、取材を実施できない状態であった。そのため、当該班はもう一方の班の取材に合流し、両班合同で取材活動を行った。

突発的な予定変更はあったものの、結果として両班とも取材の機会を確保することができ、支障なく進行した。

取材後は、取材先の店舗で昼食を取った。実際にお店で提供されているメニューを食べながら話を聞くことで、料理のこだわりやメニュー構成の意図について、より踏み込んだ質問が自然に出るようになり、取材内容も深まった。

店主との取材という枠を超えて、お店の背景についてやり取りする時間が生まれ、良好なコミュニケーションが取れた。



高校生が店主を取材の様子



グループごとに昼食をとっている様子

金太郎夜市での展示

7月18日、窪川で開催された金太郎夜市にて、作成したカードサンプルと活動報告資料の展示を行った。

カードサンプルの展示と並行して金太郎夜市では、実習メンバーの一人が四万十町の素材を使ったおむすび販売を実施した。担当者が事前に食材を生産している現場へ取材・体験へ行った。そこで得た知識や発見、ストーリーを高校生へレクチャーすると共に、おむすびの試食を行った。高校生は、素材の背景を学んだうえで値札・看板の作成に取り組み、金太郎夜市でおむすびを販売した。

同時に、これまで窪川と大正で計6回実施した、カード作成ワークショップの活動紹介と成果報告を実施した。ホワイトボードに作成したカードのサンプルを展示し、A3のスチレンボードに成果報告資料を展示した。

この展示では、これまでの活動や成果を高校生と大学生と一緒に報告・展示することで、地域の方へ成果や学び、若い世代の活動を伝える機会となった。

高校生は自身が取材した店舗の魅力や活動の中で印象に残ったことを、金太郎夜市に訪れた人々に説明する様子が見られた。

また、2週間後に開催される熊野神社での展示に向けて、展示方法や資料のデザインなどを見直すきっかけにもなった。



展示前の準備の様子



展示ボード

熊野神社「神JAZZ」での展示

7月31日、大正地域の熊野神社にて「神JAZZ」というお祭りが開催され、カード展示を行った。神ジャズでは、屋台などのお店が出店し、ジャズの生演奏を楽しむことができる。このお祭りには、地元の方がたくさん訪れるため、地元の方からのカードに対するコメントや印象を聞くために展示を行った。

カード作成ワークショップに参加した高校生が、お祭りにて射的ブースを構えることになり、ブースの一部を間借りする形で活動の成果報告を行った。

当日は、射的に来た子どもたちや高校の先生、取材したお店の方など、幅広い層の方が展示に足を運んでいただいた。

高校生が実施する射的ブースの隣であったため、射的ブースへの誘導やお手伝いをしながら、活動の紹介を行った。来ていただいた方へは、これまでの活動や目的を簡単に説明した後知っているお店はあるかなど、できるだけ対話するように心がけた。

当日は、大正で長年暮らしている方が多かったものの、「こんなお店あるんだ」という新たなお店の発見や、「ここはいつも行っている」などお店に関するエピソードや思い出などを話していただくことができた。

四万十高校の先生や校長先生ともお話をすることができ、今後の高校生との活動に対する展望などを話す機会にもなった。



熊野神社「神JAZZ」での展示の様子



来訪者への説明の様子

四万十高校 校長先生への活動報告

11月6日に、四万十高校を訪問し、校長先生への活動報告会を実施しました。当日は校長先生に加え、教頭先生をはじめとした先生方にも同席いただき、これまでの取り組みについて報告を行った。

報告に先立ち、高校生との事前打ち合わせの時間を設け、発表資料の確認やそれぞれの発表内容の整理を行った。その中で、当初参加が難しい予定であった高校生も参加できることとなり、急遽発表準備を行うなど、柔軟に対応しながら報告会に臨んだ。

報告では、これまで高校生と大学生が協働して進めてきたワークショップの内容や、地域での取材活動、成果物の作成過程について説明を行った。また、「てくてくカード」および、「まちトコマップ」の完成に至るまでの取り組みや、その中で得られた学びについても共有を行った。

当日は、高校生自身が活動の経過や制作の過程について説明する場面もあり、先生方からの質問に対して、自分たちの言葉で考えや気づきを伝える様子が見られた。活動内容の報告にとどまらず、取り組みを通じた学びや成長を振り返る機会となった。

さらに、今後の成果物の活用や発信についても意見交換を行い、本報告会はこれまでの活動成果を学校側と共有するとともに、今後の展開に向けた方向性を確認する機会となった。



校長先生らに報告する様子



事前打ち合わせの様子

窪川高校 校長先生への活動報告

11月12日に、窪川高校を訪問し、校長先生に対してこれまでの活動について報告を行った。

報告では、課外活動として高校生と大学生が協働しながら進めてきたワークショップの内容や、地域のまち歩き、取材、成果物の作成までの流れについて説明を行った。地域の魅力を高校生の視点で切り取り、言葉やデザインとして表現していくプロセスや工夫について報告を行った。あわせて、「まちトコマップ」についても完成に至るまでの取り組みを共有し、一連の活動が成果物として形になったことを伝えた。

当日は、高校生自身が活動の経過や作成の過程について説明する場面も見られた。校長先生からは、カード作成の中で工夫した点や難しかった点、活動を通して得た学びについて質問をいただき、高校生が自分たちの言葉で考えや気づきを伝える様子が見られた。制作物の紹介にとどまらず、取り組みの中での経験や成長についても振り返る機会となった。

また、完成したカード、マップ共に、文化祭での展示・配布を予定していることを報告し、展示および配布に関する許可もいただいた。

本報告を通して、これまでの活動の成果を学校側に共有するとともに、「てくてくカード」や「まちトコマップ」を通じた地域の魅力発信の可能性について確認し、今後の展開につなげていく機会となった。



校長先生に報告する様子



てくてくカードの作成に携わった高校生

四万十高校文化祭での展示

11月15日に、四万十高校で開催された文化祭にて、体育館の一部スペースをお借りし、これまでの成果報告と成果物の展示を行った。窪川高校の文化祭でも展示を行い、両校の文化祭で本公開となった。

成果報告に際しては、プロジェクトの概要とこれまでのワークショップの活動についてまとめたポスターと、活動をまとめた短い動画を作成し、展示した。

成果物に関しては、窪川地域で作成した8枚のカードと大正地域で作成した19枚のカードを展示ボードに、窪川地域で作成したマップを机に展示した。

カードとマップの展示を見た来場者の中には、実際にカードを手にとってお店の情報を確認する姿や、マップを持って帰る姿が見られた。

当日は大学生4名が常駐し、来場者への活動説明等を行った。また、高校生はそれぞれのクラスの出し物の合間を縫って、カード・マップの展示スペースを訪れ、大学生と一緒に活動の説明を行いました。特に、高校生が自身で取材したお店の話をする様子が見られた。

また、隣のブースで展示していた予土線に関するプロジェクトを行っている方との交流も行うことができた。お互いの活動について共有することができ、次へ繋げられるような機会となった。



文化祭での展示の様子



展示を見る来訪者の様子

窪川高校文化祭での展示

11月22日には、窪川高校で開催された文化祭にて、高校の教室の一部スペースをお借りし、完成したカードの展示および配布を行った。当日は、大学生1名が参加し、来場者に向けて活動の概要やカードの内容について説明を行った。文化祭という多くの生徒や保護者、地域の方が訪れる機会を通して、これまで取り組んできた活動の成果を広く知っていただく場となった。

展示では、カードをボードに掛ける形で掲示し、来場者が自由に見ながら、気になったカードを手にとることができるように設置した。机の上に並べるのではなく一覧しやすい形にすることで、それぞれのカードの違いや内容が見やすくなり、来場者が興味のあるものを選びやすい展示となった。また、展示スペースでは、高校生と大学生が協力しながら地域のお店やまちの魅力を整理し、カードという形でまとめてきた取り組みについて説明をした。

当日は多くの親子連れが展示スペースを訪れ、カードを一枚一枚見比べながら手にとる様子が見られた。来場者が自分の関心に応じて好きなカードを選べる形式であったことから、地域のお店やまちの魅力に自然と目を向けてもらう機会となった。

高校生の視点でまとめた情報を来場者に届けることで、地域への関心や新たな発見を促す場となり、活動の成果を広く共有することができた。



準備を行う高校生



ブース展示の様子

完成したてくてくカードの配布イベント

2026年2月21日、高校生と大学生がご協力いただいた店舗へカードを手渡しする配布イベントを実施した。配布先は、窪川地域2店舗、大正地域4店舗の計6店舗である。

当日は、カード作成ワークショップ参加の高校生3名、大学生3名、役場職員1名の計7名で実施した。

配布時には、大学生から本企画への参加およびご協力に対する感謝を伝えた。その後、事前に印刷したお礼文（A4判1枚）およびカード実物10枚を、高校生から各店舗の店主へ手渡した。

お礼文には、本企画の趣旨、ご協力への感謝、参加した高校生の声、今後のカード活用予定を記載した。あわせて、高校生からも店主へ一言お礼を述べた上でお渡しした。

イベント実施中は、高校生が店主の主催するイベント等に関心を示す様子や、店主と積極的にコミュニケーションを取る様子が確認された。

本イベントは、まちトコマップ配布イベントと同時開催とし、参加者全員で昼食を共にするなど、世代間交流の機会にもなった。



カード配布の様子



昼食で交流している様子

大正地域内へのてくてくカードの展示・設置

2026年3月24日、四万十オートキャンプ場ウエル花夢にご協力いただき、施設にててくてくカードの展示を行った。展示したカードは、窪川地域8店舗分、大正地域19店舗分の計27枚であった。

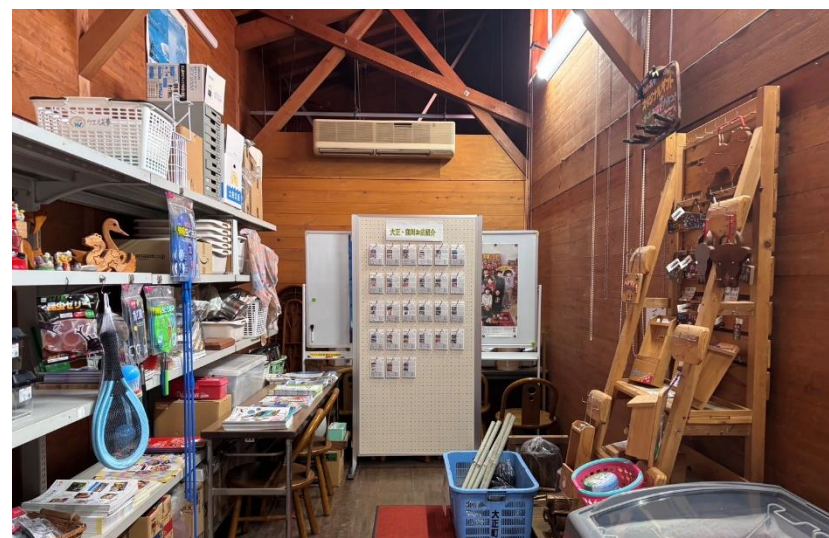
展示場所は、施設内の売店エリアにあるチラシや広報物を設置するスペースをお借りし、展示ボードを設置を行った。

本展示の目的は、ウエル花夢の宿泊者が食事場所や土産物を購入する場所を探す際に、窪川・大正地域のお店を知り、次の目的地として検討するきっかけをつくることである。

ウエル花夢の管理人である市川氏によると、キャンプ場のチェックアウトは午後1時であるものの、多くの宿泊客は午前中のうちに出発するとのことであった。その際、昼食をとる場所や、次の目的地へ向かう前に土産物を購入する場所を探している宿泊客をよく見かけると伺った。

こうした利用者の動きから、展示ボードを通して窪川・大正地域のお店の情報を届けることで、宿泊客が実際に地域へ足を運ぶきっかけを生み出すことが期待される。

今後のカード展示場所としては、大正地域のEkimae house SAMARUや土佐大正駅構内などを候補として検討中である。



カード展示の様子



展示ボード

4-2. まちトコマップ

まちトコマップ作成ワークショップ in窪川 1回目：6月6日

四万十町窪川地域の街中を舞台に、実際にまちを歩きながら地域の魅力や特徴を発見し、それらを整理・発信することを目的として、最終的にテーマを設定し、まちの魅力をもとめた「まちトコマップ（以下、マップ）」を作成する全3回のワークショップに取り組んだ。高校生3名、大学生4名で実施された。

第1回目は、大学生と高校生の顔合わせを行うとともに、高校生が企画の目的を理解し、マップのイメージを持ったうえで、作成するマップのテーマを決定することを目的として実施した。

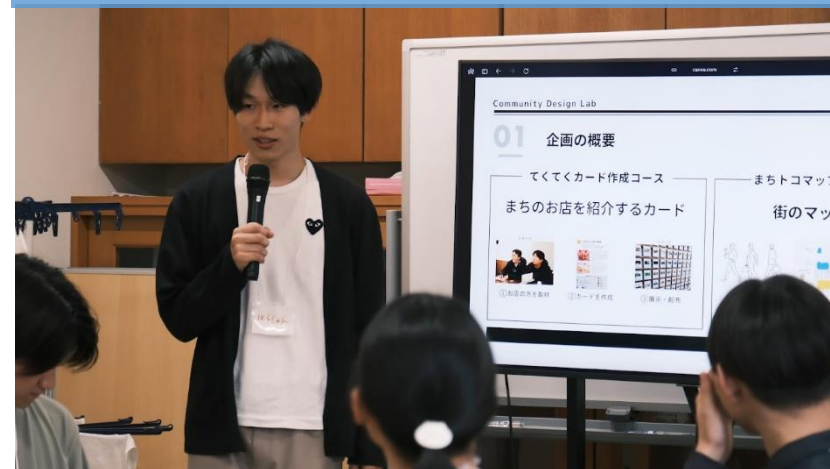
ワークショップでは、自己紹介やアイスブレイクを通して交流した後、企画の趣旨や概要について説明を行った。自己紹介では高校生と大学生がお互いの名前や所属、趣味などを共有し、話しやすい雰囲気づくりを行った。

続いて、大学生から高校生に対して、企画の目的や全体の流れについて説明した。また、マップの完成イメージを持ってもらうため、大学生が事前に集めた全国各地のさまざまなマップを紹介した。さらに、それらを参考にしながら、実際に切ったり貼ったりしてオリジナルマップを作成するワークを行い、掲載する情報やデザインについて具体的に考える機会とした。

最後に、今回作成する窪川のマップでは何をテーマにするかについて、高校生を主体として話し合いを進めた。その結果、「高校生がおすすめする窪川のランチマップ」を観光客向けに作成することを決定しました。



マップ例をもとにオリジナルマップを作成



大学生が企画の説明を行う様子

まちトコマップ作成ワークショップ in窪川 2回目：6月13日

第2回目は、ワークショップの舞台となる窪川地域の街並みやお店を自分の目で見て実際に足を運び、最終日の取材先を決定することを目的として実施した。事前準備として、まず窪川高校生と四万十高校生を対象に、好きなランチのお店や好きなメニュー、誰と行くかななどを尋ねるGoogleフォームのアンケートを作成した。アンケートは、回答を集計しやすくするとともに、できるだけ多くの回答を得られるよう、選択式を中心にして短時間で記入できる内容となるよう工夫した。

また、マップ完成に向けて必要となる作業を整理するため、マインドマップを用いて関連する作業同士をつなぎながら、具体的なToDoへ落とし込んでいくワークも行った。この作業では、マップ完成までの流れを高校生自身が一から考えることに難しさを感じる場面も見られた。

さらに、次回のまち歩き後に進めるマップ作成に向けて、デザイン作業や情報収集をどのように進めるかを整理し、高校生同士で役割分担を行った。写真撮影や掲載情報の整理、紹介文の作成など、マップ制作に必要な作業を確認したうえで、それぞれの得意なことや関心に応じて担当を決めることで、次回以降の活動を円滑に進められるよう準備した。

あわせて、次回のまち歩きに向けて、当日の流れや注意点、現地で行う作業内容について説明を行った。安全面への配慮や、店舗・地域の方々への礼儀についても確認し、目的意識を持って活動に取り組めるようにした。



マインドマップの作成を行う様子



付箋を用いたワークの様子

まちトコマップ作成ワークショップ in窪川 3回目：6月21日

第3回目は、窪川のまち歩き、マップへの整理、共有会の流れで実施し、実際に街を歩いて得た情報をもとに成果物の作成まで行いました。事前に3つのルートに分かれ、それぞれ担当するお店を回りながら、店舗の位置や周辺の雰囲気を確認し、気づいたことを整理しました。窪川に住む高校生にとっても、これまで知らなかったお店や地域の人と出会う機会となり、実際に歩いて対話することで新たな発見につながりました。

まち歩き終了後は、確認した位置情報や気づきをもとに、A1サイズの紙に内容をまとめながらマップのデザインを作成しました。どのようなマップにするかについては、これまでの2回のワークショップで話し合ってきた内容をふまえ、高校生たちが意識しながら制作を進めました。

その後は、てくてくカードと合同で共有会を行い、高校生が成果物のテーマや工夫した点について発表しました。発表では、第1回・第2回のワークショップで決定してきた内容もあわせて伝えることができ、活動の流れや成果を参加者同士で共有する機会となりました。

また、ワークショップ終了後の7月から10月にかけては、この3回の高校生とのワークショップで作成したマップをもとに、大学生が内容の整理やデザイン調整を進め、最終的なマップの完成につなげました。



高校生がお店へ取材に行く様子



ワーク終了後の集合写真

金太郎夜市での展示

7月18日には、窪川で開催された金太郎夜市にて、マップのデザイン案3種類を展示し、町民の方を対象にヒアリング調査を実施した。展示したマップ案は、全3回のワークショップを通して高校生と大学生が話し合い、固めてきた意見やアイデアをもとに作成したものである。

当日は、四万十高校・窪川高校の高校生5名が参加し、ブースを訪れた町民の方にマップの見やすさについて意見を伺った。調査は、来場者に3種類のデザイン案の中から最も見やすいものを選んでもらい、投票箱に投票していただく形で行った。

その結果、アンケートの回答数は12件となり、Bの色とデザインが最も見やすいという意見が多く寄せられた。この結果を踏まえ、今後はBのデザイン案をベースに修正を進めることとした。

また、当日は高校生が自分たちでマップの内容や取材した店舗について町民の方へ説明する場面も見られ、来場者と積極的にコミュニケーションを取る姿が印象的であった。あわせて、マップの展示とともに、高知大学コミュニティデザイン研究室で実施している「てくてくカード」の紹介や、実習班のプロジェクトの一つであるおにぎりの販売も行った。

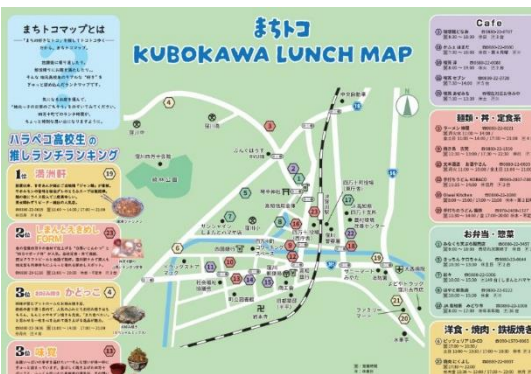
A



B



C



四万十高校 校長先生への活動報告

11月6日に、四万十高校を訪問し、校長先生への活動報告会を実施した。当日は校長先生に加え、教頭先生をはじめとした先生方にも同席いただき、これまでの取り組みについて報告を行った。

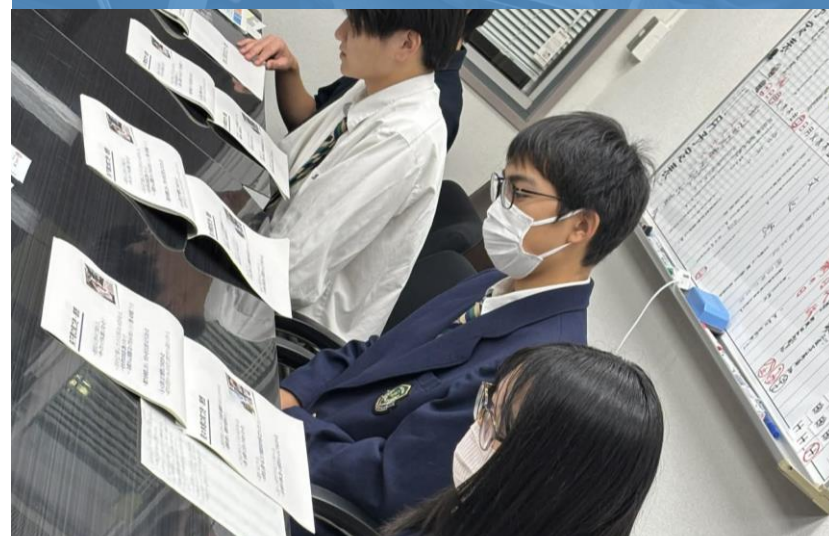
報告会に先立っては事前打ち合わせの時間が設けられ、発表資料の確認やそれぞれの役割分担、話す内容の整理を行った。また、当初は参加が難しいとされていた高校生も加わることとなり、直前に発表内容を調整しながら準備を進めるなど、柔軟に対応しつつ本番に臨んだ。

報告では、高校生と大学生が協働して進めてきたワークショップの全体像や、地域でのまち歩き、取材、成果物の制作に至るまでの流れについて説明を行った。特に「まちトコマップ」については、大学生と1名の高校生が中心となって、地域の魅力をどのような視点で捉え、利用する人にとって分かりやすく伝えるかを意識しながら作成を進めてきたことを報告した。あわせて、「てくてくカード」の活動の概要や制作の中で意識した点についても共有が行われた。

当日は、高校生自身が活動の経過や制作過程について説明する場面もあった。先生方からは、情報を整理してまとめるうえで工夫した点や、実際に地域を歩き取材したことで見えてきたことなどについて質問が寄せられ、高校生が自分たちの言葉で考えや学びを伝える様子が見られた。単なる成果報告にとどまらず、活動を通して得た視点の変化や成長を振り返る機会にもなった。



校長先生らに報告する様子



報告を行う高校生

窪川高校 校長先生への活動報告

11月12日には、窪川高校を訪問し、校長先生に対してこれまでの活動について報告を行った。

報告では、課外活動として高校生と大学生が協働しながら進めてきたワークショップの内容や、地域のまち歩き、取材、成果物の作成までの流れについて説明を行った。あわせて、「まちトコマップ」が完成したことに加え、「てくてくカード」についても活動の内容や成果を報告し、一連の取り組みが形になったことを共有した。

当日は、高校生自身が活動の経過や作成の過程について説明する場面もあった。校長先生からは、作成過程で苦労したことや、活動を通してどのような学びがあったかについて深く質問をいただき、高校生が自分たちの言葉で考えや気づきを伝える様子が見られた。活動内容だけでなく、取り組みの中で得た経験や成長についても振り返る機会となった。

また、完成したカードやマップについては、文化祭での公開を予定していることも報告し、あわせて展示・配布に関する許可もいただいた。本報告を通して、これまでの活動の成果を学校側に共有するとともに、今後の発信につなげていくための確認を行う機会となった。



校長先生に報告する様子



校長先生と記念撮影

四万十高校文化祭での展示

11月15日には、四万十高校で開催された文化祭にて、高校の教室の一部スペースをお借りし、完成したマップの展示および配布を行いました。当日は四万十高校生と大学生が参加し、来場者に向けて活動の概要やマップの内容について説明を行いました。文化祭という多くの生徒や地域の方が訪れる機会を活用することで、これまで取り組んできた活動の成果を広く発信する場となりました。

展示では、マップを机の上に配置するとともに、マップ作成に至るまでのプロセスやワークショップの流れをまとめた資料もあわせて掲示しました。これにより、来場者が単に完成したマップを見るだけでなく、高校生がどのような過程を経て地域のお店を取材し、情報を整理しながらマップを作成してきたのかを理解できるような展示構成としました。

また、来場者が自由にマップを手に取り、興味を持った方がそのまま持ち帰ることができる形で設置することで、展示後も地域の情報に触れてもらえるよう工夫しました。

本展示を通して、高校生が地域を実際に歩き、お店を取材しながらマップを作成してきたプロセスを多くの来場者に伝える機会となりました。また、地域の魅力を高校生の視点から発信する取り組みとして、活動の成果を校内外に共有する場となるとともに、来場者にとっても窪川地域の新たな魅力を知るきっかけとなりました。



文化祭での展示の様子



展示を見る来訪者の様子

窪川高校文化祭での展示

11月22日には、窪川高校で開催された文化祭にて、高校の教室の一部スペースをお借りし、完成したマップの展示および配布を行いました。当日は、大学生1名が参加し、来場者に向けて活動の概要やマップの内容について説明を行いながら、完成したマップの配布を行いました。文化祭という地域の方や保護者も多く来場する機会を活用することで、これまでの活動成果を広く発信する場となりました。

展示では、マップを机の上に配置し、来場者が自由に手に取って見られる形としました。また、展示スペースでは、活動の背景や作成の経緯についても口頭で説明を行い、高校生と大学生が協働しながら地域のお店を取材し、マップを作成してきた取り組みを伝えました。完成したマップを実際に見てもらいながら説明することで、来場者にも内容や意図が伝わりやすい展示となりました。

当日は多くの親子連れが展示スペースを訪れ、実際にマップを手にとって見ていただく様子が見られました。配布したマップは約150部にのぼり、多くの来場者に手に取っていただく機会となりました。

本展示を通して、作成したマップが地域の店舗やまちの魅力を伝えるツールとして実際に活用されていることを実感する機会となりました。また、高校生の視点からまとめられた地域情報が、来場者にとって新たな発見や町への関心につながる事が確認でき、活動の意義を改めて共有する場となりました。



ブース設置後の高校生



ブース展示の様子

完成したまちトコマップの配布イベント

2026年2月21日には、岩本寺にて、高校生と大学生が協力し、観光客に向けてマップを配布するイベントを実施しました。当日は四万十高校生3名、大学生3名、役場職員1名の計7名が参加し、観光客に対してマップの配布を行いました。観光客が実際に窪川地域を訪れる場所で配布を行うことで、これまで作成してきたマップを実際の観光の場面で活用してもらう機会となりました。

配布時には、大学生から観光客に対して本企画の趣旨を簡単に説明したうえで、マップを手渡しました。また、高校生からも「高校生がおすすめするお店を紹介しています」などの一言を添えて渡すことで、マップの特徴や魅力が伝わりやすいよう工夫しました。配布枚数は10枚以上となり、観光客に直接手に取ってもらうことができました。

当日の実施が昼食の時間帯であったこともあり、観光客からは「ちょうどお昼ご飯のお店を探していたので助かります」といった声も聞かれ、関心を持って受け取っていただく様子が見られました。実際に観光客のニーズとマップの内容が結びつく場面が見られたことで、本マップが地域の飲食店やまちの魅力を伝える実用的なツールとして機能していることを確認する機会となりました。

イベント終了後は、参加者全員で昼食を共にし、高校生・大学生・役場職員が感想を共有しながら交流する時間を持ちました。配布活動を通じた学びを振り返るとともに、立場を越えて地域や活動について話し合う機会となり、参加者同士のつながりを深める場にもなりました。



マップ配布に参加してくれた高校生



観光客にマップの説明を行っている様子

まちトコマップの設置について

窪川地域の主要な観光地を中心に、観光客が手に取りやすく、実際に訪れる機会の多い場所への設置を行った。具体的には、「道の駅めぐり窪川」「ゆういんぐ四万十」「しまんとえきめしFORM（窪川駅構内）」「四万十町観光協会」「四万十町役場西庁舎ふれあいホール」の5か所に設置した。これらはいずれも、観光客や地域外からの来訪者が立ち寄ることの多い拠点であり、マップのターゲットに対して効果的に情報を届けることが期待できる場所である。設置にあたっては、大学生が各施設を訪問し、本マップの企画趣旨や作成の背景、地域の高校生・大学生が関わって制作した点などを説明したうえで、設置の交渉を行った。単にマップを配架するだけでなく、誰がどのような目的で作成したものを丁寧に伝えることで、施設側にも取り組みの意義を理解していただき、協力を得ながら設置につなげることができた。



設置準備の様子



ゆういんぐ四万十



道の駅めぐり窪川



四万十町役場 西庁舎



しまんとえきめしFORM（窪川駅構内）



四万十町観光協会

5. 成果物

5-1. てくてくカード

作成したカード(窪川)

<p>古民家カフェ 半平 Historic Cafe Hanpei</p> <p>第120年の古民家で、和のひとときを。 Enjoy a moment of Japanese culture in a 120-year-old traditional house.</p> <p>第120年以上の古民家で、美しいお庭を眺めながら、季節の和菓子やお抹茶、コーヒーをいただくことができます。季節ごとに和しや履きも開かれており、訪れるたびに違った魅力が広がるのも楽しみのひとつ。四季の移り変わりを感しながら、心ほっとける時間を過ごしたい。夏を涼んでみてほしい。</p> <p>In this traditional Japanese house with a history of 120 years, you can enjoy seasonal Japanese sweets and matcha tea while gazing at the beautiful garden. Events are held every season, so please spend a relaxing time here while feeling the changing seasons.</p> <p>営業時間 Information AM 9:00-PM 4:00 Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>風流茶房 淳 Quaint cafe Jun</p> <p>昭和レトロな空間で、ほっとひと息。 Take a break in a retro Showa-era space.</p> <p>自家製ホイップクリームたっぷりのウンナーコーヒーが人気の喫茶店。店内はどこか懐かしい昭和の雰囲気で老若男女問わず、ゆったりとした時間を過ごせます。コーヒーはひとつひとつ手作業で選りすぐれた豆を焙煎。また来たくなる、そんな一杯をどうぞ。</p> <p>We serve Vietnamese coffee topped with homemade whipped cream. The Showa-era atmosphere allows people of all ages to relax. The beans are carefully selected by hand and roasted in-store. It will make you want to come back again and again.</p> <p>営業時間 Information AM 9:00-PM 6:00 Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>まるい青果市場 Marui Fruits Store</p> <p>夏の花とフルフルジュの味が、旬の味とふわふわき氷を。 Seasonal flowers and fluffy shaved ice by the gate of Iwamoto-ji temple.</p> <p>四国八十八か所のひとつ・松本寺の門前にある「まるい青果市場」では、夏の季節の果物や旬の野菜を手にとることができます。おすずめは、ふわふわのき氷。5月から10月限定で味わえる、夏のたまごも、季節のあじに、ぜひ立ち寄ってみてください。</p> <p>Located at the gate of Iwamoto-ji temple, one of the 88 Shikoku pilgrimage temples, "Marui Fruits Store" offers a variety of seasonal fruits and vegetables. They also offers fluffy shaved ice, available only from May to October. Be sure to stop by.</p> <p>営業時間 Information AM 11:00-PM 5:00 Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>味覚 Mikaku</p> <p>四万十の味を、どんぶりいっぱい。 Fill your bowl with the flavors of Shikoku.</p> <p>四万十ボークを使った豪快などんぶりをはじめ、からあげや焼き餅など盛り合わせのメニューがそろっています。こじんまりとした四万十の味を味わいながら、地元の名産品もぜひ楽しんでください。</p> <p>Our restaurant offers a wide variety of hearty dishes, including large bowls of Shikoku pork, fried chicken, and fried rice. We use Nida rice produced in Shikoku, so you can enjoy the flavors of the region. Please stop by during your trip.</p> <p>営業時間 Information AM 8:30-PM 3:00 Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>
<p>古梵 Fushon</p> <p>地元の味を串に込めて。 Local flavors on skewers.</p> <p>四万十町の食材を使った焼き鳥が人気のお店。さまざまな種類の調味料がそろい、地元の肴にもよく合います。お酒もいろいろ揃ってほしい。一品一品を丁寧に提供されています。旅の途中に、地元の味をぜひ味わってほしい。</p> <p>This restaurant is popular for its yakitori made with ingredients from Shimanto Town. With a wide variety of dishes, it has been loved by locals for many years. The food is prepared with the warm intention of filling customers' stomachs. Please enjoy the local flavors.</p> <p>営業時間 Information AM 9:00-PM 1:00 (おひらき営業終了) Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>みなくち天ぷら店 Minakuchi Fried food Store</p> <p>63年続く、まちの天ぷら屋さんでほっとひと口。 Take a break at a tempura store that has been around for 63 years.</p> <p>創業63年、築くくご家族が営む、静かならな天ぷら屋さん。豊富なメニューを和食店ならではの力で、お手もどきで、30分、たごごは人気。地元の人もよく愛用されている。夏は、ぜひ立ち寄ってほしい。夏は、ぜひ立ち寄ってほしい。</p> <p>Founded 63 years ago, this tempura store is run by a friendly family. The appeal of this store is its affordable prices and extensive menu. Shrimp tempura, croquettes, and takoyaki are particularly popular. Please enjoy the flavors that have been loved by locals for many years.</p> <p>営業時間 Information AM 9:00-PM 1:00 (おひらき営業終了) Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>Oiwai Kitchen Oiwai Kitchen</p> <p>四万十ボークの旨みを、ゆったり味わおう。 Savor the rich flavor of Shikoku pork at a relaxed place.</p> <p>四万十ボークを使った料理が楽しめる、のんびりとした雰囲気のお店。ぜひ地元産の食材にこだわりの、心のこもったメニューを提供しています。夏は、ぜひ立ち寄ってほしい。夏は、ぜひ立ち寄ってほしい。</p> <p>This laid-back restaurant offers dishes prepared with as many locally sourced ingredients. At night, the juicy Shimanto pork shumai is recommended, during the day, the Vulga rice. Be sure to stop by during your travel.</p> <p>営業時間 Information AM 12:00-PM 6:00 Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>	<p>松鶴堂 Shokaku-do</p> <p>季節ごとに会える、和の楽しみ。 Seasonal Japanese pleasures to encounter.</p> <p>1954年創業の老舗和菓子店。四季折々の素材と和を大切にした和菓子が魅力です。毎朝の朝には抹茶を練り込んだ菓子、夏には涼やかなお菓子など、その時期に合わせたお菓子も揃っています。旅の途中に、ぜひ立ち寄ってほしい。</p> <p>This Japanese sweets shop was established in 1954. It offers Japanese sweets with different flavors and colors depending on the season such as refreshing mizu yokan in summer. Enjoy these seasonal flavors at a souvenir of your trip.</p> <p>営業時間 Information AM 9:00-PM 1:00 (おひらき営業終了) AM 10:00-PM 3:00 (おひらき営業終了) Free Wi-Fi No Smoking Charge point</p>

5-2. まちトコマップ

作成したマップ（日本語版）

高校生 × 大学生

まちトコ KUBOKAWA LUNCH MAP

くぼがわランチマップ

ハラペコ 高校生の 押しランチ ランキング

1 満洲軒 19

創業以来、甘辛あんが絡むご当地風「ジャンメン」が看板。牛ホルモンの旨味と秘伝ダレのとろみスープは絶品。箸の後にライス投入で二度美味しい。男女問わずリピーター続出の人気店。

☎0880-22-0019 ☎11:00~14:00 ☎日・第2・4月 ☎6台
17:00~21:00

満洲ジャンメン

2 しまんとえきめしFORM 23

四万十町の煮込みがギュッとつままった“とんかつ定食”や“唐揚げ定食”が絶品！「くぼがわちゃんぽん」も大人気のメニュー。廣川駅ナカで、列車の待ち時間を四万十町の食料を楽しめる心も体も満たされる。

☎0880-29-6110 ☎11:00~15:00 ☎水・不定休 ☎3台
18:00~20:30 ☎@40010ekimeshi

四万十町のえきめし 唐揚げ定食

3 お好み焼き かどっこ 4

姉妹が営むお好み焼き店。鉄板の響りが響く店内で、人気のふわとろお好み焼きはもちろん、もんじゃ焼きやモダン焼きの種類も充実。「また食べたい」と思わせる一枚心を込めて焼き上げる逸品が魅力。

☎0880-22-3636 ☎11:00~14:00 ☎月・火 ☎4台
17:00~21:00

お好み焼き (スペシャルミックス)

3 味覚 13

お願いはいの幸せを届けたいーそんな想いが一杯にぎゅっと詰まっています。香ばしく焼き上げた四万十ポークと、ふっくら炊いた仁井田米の湯炊は、その想いのほんの一部。一箸ずつ丁寧に仕上げています。

☎0880-22-0448 ☎8:00~19:30 ☎不定休 ☎2台
☎@shimantomikaku

四万十ポークリ

カフェ・喫茶店

② 珈琲屋 どなみ ☎0880-22-0707 ☎09-1988-7979 ☎8:30~18:00 ☎日 ☎4台	☎0000.donon
⑪ かふえ はまた ☎0880-22-0980 ☎7:30~16:00 ☎日・第4月曜 ☎#	
⑭ 喫茶 洋 ☎0880-22-0080 ☎9:00~18:00 ☎火・水 ☎5台	
⑮ cafe 食堂 セブン ☎0880-22-2091 ☎7:30~14:00 ☎日 ☎5台 土・祝7:30~10:30	
⑯ 喫茶 シーガル ☎0880-22-2722 ☎7:30~14:00 ☎日 ☎6台 第1日7:30~11:00	☎@sea_gull1979
⑳ たんぽぽ ☎090-7582-3995 ☎8:00~11:00 ☎12:00~15:00 ☎19:00~23:00 ☎日・祝 ☎#	☎@tanpopo_sudachi

種類・丼・定食系

④ ラーメン 精進 ☎0880-22-0221 ☎11:00~14:00 ☎木 ☎4台 土・日17:30~21:00	☎@ramen_jinsaba
⑤ 吉野 ☎0880-22-1550 ☎11:30~12:00 ☎日 ☎7台 17:30~22:00	
⑩ 文彦 湯 湯やさん ☎0880-22-0039 ☎11:00~21:00 ☎火・水・木 ☎10台 月11:00~14:00 ☎年末年始 17:00~20:00	☎@tsuminotobrewery
⑫ 手打ちうどん KOBACCO ☎0880-2037-7889 ☎11:15~14:00 ☎日 ☎5台	☎@kobacco.3.31
⑬ Oiwai Kitchen ☎0880-22-1080 ☎8:00~14:30 ☎木 ☎3台 17:00~21:00 ☎第2日	☎@729oiwai
⑭ 手打ちのうどん 藤助 ☎070-2400-1327 ☎11:30~14:00 ☎水 ☎# 17:00~20:00 ☎不定休	☎@enokosuke.udon

お弁当・惣菜

① みなくち 天ふる 飯屋 ☎0880-22-3457 ☎9:00~18:00 ☎日・第2・4月 ☎1台	
⑤ きっちゃん ケロちゃん ☎0880-22-0644 ☎10:30~13:30 ☎土・日・祝 ☎2台 ※月曜休業	
⑦ 彩々(しまんとハマヤ内) ☎0880-22-5006 ☎10:00~15:30 ☎14台(しまんとハマヤ) 1430ラストオーダー	
⑧ はやと鮮魚店 ☎0880-22-0222 ☎9:00~18:00 ☎土・日 ☎#	
⑬ JA高知県 みどり市 ☎0880-22-1008 ☎8:00~17:00 ☎年休 ☎22台	☎@jakochiken_mideritchi

洋食・焼肉・鉄板焼き

⑥ ビックリア LO-CO ☎090-1570-0065 ☎平日17:00~20:30 ☎木 ☎3台 土日11:30~13:30/17:00~20:30	
⑩ 焼肉 にくよし ☎0880-22-0807 ☎17:30~22:00 ☎月 ☎3台 水・木 11:30~13:00/17:30~22:00	☎@nikuyoshi0807
⑫ 焼肉 団 ☎0880-22-0558 ☎11:30~14:00 ☎水 ☎16台 17:00~21:00 ☎火・木 2・4火	
⑭ TAKUYAKI POLPO ☎080-8649-5185 ☎11:00~17:30 ☎日・月・火・水・木 ☎#	☎@40010_polpo

まちトコマップとは

「まちの好きなトコ」を探してトコトコ歩くから、まちトコマップ。

放課後に寄り道したり、部活帰りにお腹を満たしたり... そんな地元高校生の実践的な「好き」をぎゅっと詰め込んだランチマップです。

気になるお店を選んで、「地元っ子の日常のこころ」をのぞいてみてください。

四万十町でのランチ時間が、ちょっと特別な思い出になりますように。

協力: 四万十町役場・廣川区 高校生・四万十高校生
企画・制作・発行: 高知大学地域創生部 コミュニティデザイン研究室
マップ制作にあたりご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

発行: 2025年11月

※駐車場については直営店舗へ確認ください。

Copyright © 2024 Jun SUTO All Rights Reserved.

50

6. 高校生の声、感想(抜粋)

矢下君の気づき・感想

- 最初は人に言われて参加した。
→やっていくうちに楽しくなった!
- 1年半大正で暮らしていたけど知らないお店があった。
→それぞれのお店に想いがあった
→「お客さんに笑顔になってもらいたい」という想いは共通していた
- 魅力を発信したい、するべきだと思うようになった
- もっと深くまで質問してみたかった
→質問の回答をいろんなお店と比較できたら面白いと思った。



矢下君のまちあるきの様子



矢下君の発表の様子

佐々木君の気づき・感想

- 普段何気なく行っている**お店の裏側**を知ることができた。
→**創業の想い、接客の気持ち**など。
- これまで行ったことないお店があった。
→**想いを聞くと行ってみたい**になった。
- 進路に悩んでいた。
→**大学生と関わることで進路決定の役に立つ**と思った。
- 決まった質問だけすることが多かった。
→**その時その時に思った質問をもっとしてみた**かった。



佐々木君のワークショップ参加の様子



佐々木君の昼食交流会の様子

前田さんの気づき・感想

- 誘われたのがきっかけで参加した。
→**地域のお店について知ったり、大学生と話したりできて楽しかった**
- 空いていないと思っていたお店があった
→**お店に行ってみると営業していた。**
- お店の数もあまりないと思っていた。
→**町をあるいてみると、ひっそりとあった。**
- 「これから自分のお店を残していきたいかどうか」など、
もうちょっと深掘して質問してみたい。



前田さんのワークショップ参加の様子



前田さんの取材の様子

松田さんの気づき・感想

- 地域について知らなかったから参加しようと思った
- プロジェクトを通して様々な情報を知ることができた
→一度は利用してみたいと思った。友達や家族とも訪れたいと思った
- 大学生との交流、進路相談もすることができた
- 取材に関して、質問以外の準備なども行ってみたかった



松田さん発表の様子



大学生とワークに取り組む松田さん

松井さんの気づき・感想

- 実際にマップ制作を行い、
四万十町について知ることができた
→マップを作成するプロセスが四万十町を知る機会になった。
- 四万十町のことだけど知らないことが多かった。
→松井さんから「このお店知らなかった。行ってみたい。」
という声があった。



羽屋戸さんの気づき・感想

- 地元のお店について知っているお店ばかりではなく、店舗の存在だけ知っているけれど、実は知らないことが多くあったことに驚いた
 - 店舗に取材に行く際に、店主の思いやメニュー等普段食事に来るときよりも**深くその店舗について知ることができる。**
- 話し合いをする中で、何を大切にするかは人それぞれであることに気づくことができた
 - マップに載せる店舗情報を決める際に車を持っている人は駐車場の台数を重視する、若い人はInstagramの情報を重視するなど人によって**必要としている情報や大切にしていることは違うということに気づいた。**



校長先生に報告を行う羽屋戸さん



取材先を訪れた羽屋戸さんと大学生

木下さんの気づき・感想

- 色々なお店に行き、お店の人の気持ちや思いを知ることができた
→ 色々なお店に行き、そのお店の歴史や、どういうことに気をつけてお客さんと接しているか、お客さんにどのような思いをして帰ってほしいかなど、お店の人の気持ちや思いを知ることができた。
- マップやカードを作成することで窪川について知ってもらえると感じた
→ これらの事をマップにしたりカードを作成することで、窪川についてたくさんの人に知ってもらえるので、とてもいい体験だと感じた。



校長先生に報告を行う木下さん



大学生とワークに取り組む木下さん

7.成果と課題

成果と課題：てくてくカード

■ 成果

- ・ 高校生が地域のお店を取材することによって、**地域で働く人やお店の魅力を知る場**を作ることができた。
- ・ 高校生と大学生が交流することで、高校生にとって**新たな価値観に触れたり、地域と関わる体験**をすることができた。
- ・ **27枚の店舗紹介カード**を作成し、**3回の展示活動**を行うことができた。

■ 課題

・ カードのレイアウトや見やすさについて

- カードの大きさが小さく、目の悪い方などにとっては見にくいカードになっている。
特に文字は小さくて読みにくいという声が多数あった。

・ 高校生との関わり方やワークショップの設計について

- 高校生が書いてくれたカード掲載用文章を後日、大幅に加筆修正することになった。そのため、修正も高校生を巻き込んで行うなどの工夫を行うべきであった。
- 今後の展示場所や高校生との協働がまだ曖昧なため、高校生がより深く関われるように改善していきたい。

成果と課題：まちトコマップ

■ 成果

- 高校生が地域のお店を取材することによって、**地域で働く人やお店の魅力を知る場**を作ることができた。
- 高校生と大学生が交流することで、高校生にとって**新たな価値観に触れたり、地域と関わる体験**をすることができた。
- マップを四万十高校文化祭、窪川高校文化祭、岩本寺での展示・配布を通して200部ほど配布した。
- 「お昼に便利」「ちょうどどこに食べに行こうか迷っていたところだった」という声も聞かれた。

■ 課題

- **ワークショップの内容について**
→マップ作成や企画の進行に慣れていない高校生にとっては、内容が難しい部分もあり、十分に寄り添った設計になっていない点があった。
また、ワークショップの時間配分が詰め込み型となってしまう、成果物の作成に十分な時間を確保することができなかった。前回ワークショップの反省点も十分に活かされていなかったため、今後は事前準備の段階でリハーサルを行い、時間配分や進行内容を繰り返し確認するなどの工夫が必要である。
- **チェック体制について**
→マップ作成において、店舗の位置情報や掲載内容、言い回しなど細かな修正が多く発生し、修正作業に多くの手間と時間を要する結果となった。
今後はチーム内でチェックリストを作成するなど、事前に確認すべき項目を整理し、より効率的に確認作業を行える体制を整えていく必要がある。

お問い合わせ

■ 四万十町役場

人材育成推進センター

担当：吉村・中井

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

E-mail：103060@town.shimanto.lg.jp

TEL：0880-22-3163 FAX：0880-22-3345

にぎわい創出課

担当：有田・宮本

〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17

E-mail：syoko-koyo-40010@town.shimanto.lg.jp

TEL：0880-22-3281 FAX：0880-22-5040

■ 高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

Web：https://www.communitydesign-kochi.jp/

E-mail：j.suto@kochi-u.ac.jp

TEL：088-888-8077 FAX：088-888-8043

※本企画に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本企画の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます